

企業グループと多角化

中国繊維企業に関する実証分析

Business Group and Diversification: An Empirical Analysis of Chinese Textile Firms

張 強

筑波大学大学院

システム情報工学研究科博士後期課程

qzhang@sk.tsukuba.ac.jp

要旨

本稿では、アジア新興経済において、企業グループへの所属が企業の多角化とパフォーマンスの関係に与える影響を実証的に分析する。先行研究の多くはグループ内部資本市場の活用とグループ構造を中心として水平的多角化型グループに注目しているが、本稿では垂直統合型グループに焦点を当てる。中国の上場繊維企業のパネルデータを用いた分析の結果、垂直統合型グループのグループ系企業は、独立系企業に比べて、産業間多角化が企業価値に高い効果を与えており、グループ内部資本市場の活用を通じて産業間多角化の効果を高める可能性が示されている。また、産業内多角化がグループ系企業の収益性と企業価値に負の効果を与えるとの結果が得られた。これは、グループ構造が、企業の産業内多角化の効果に負の影響を与える傾向があること示している。先行研究をも踏まえ、グループ系企業の多角化の効果が、グループ構造に規定される部分が大きいことがわかる。